

1	池谷・入山モデル作り事業
1－1	山清水米直販
・令和2年産米 農民連に 70 俵（4,200kg）、食と農を考える飛渡の会（食農会）に 200 俵(12,000kg)、飛渡の未来を創る会に 47.25 俵（2,835 kg）出荷致しました。一般販売分としては、「山清水米」10947.25kg , 「超特選 農薬・化学肥料不使用『山清水米』はざ架け米」（以下はざ架け米）627kg を出荷致しました。 ・令和3年産米 農民連に 111 俵（6,600kg）、食と農を考える飛渡の会（食農会）に 166.5 俵(9,990kg)出荷致しました。一般配売分としては3月末時点の発送済と予約分で 14593.5kg、はざ架け米 915kg の販売量となっています。十日町市のふるさと納税の返礼品としての注文が増加したことにより、昨年度より更に販売量を増やすことが出来ました。	
1－2	農業生産
2021 年度は作付けできた面積が前年よりも増え、4 町 9 反の田んぼを耕作することとなりました。収量も前年度よりもさらに良くなりました。等級については、粳摺り機が故障していた時の一部のお米が、肌ずれにより 2 等米になってしまいましたが、粳摺り機を修理した後のお米は全量 1 等米となり、田んぼでの品質も安定してきました。 2020 年度から土壌分析と現地指導をしてくれる肥料屋さんにアドバイスを頂きながら進めていますが、年々改善が進んでいると思います。まだまだ改善の余地がありますので、更なる高みを目指したいと思います。 また、33 馬力のキャビン付きのトラクターを導入した事で、労働負荷もさらに軽減されました。手間のかかる棚田での耕作を若手が少人数で管理できるように環境整備も年々進んできていると思います。	
1－3	加工品
令和2年産米は早々に完売し、ご迷惑をおかけしてしまったお客様もいらっしゃったので、令和3年産米は山清水米として販売する量を増やしました。ふるさと納税・YouTube チャンネルのおかげで昨年度より販売量を増やすことが出来ました。以前からのお客様にも新規のお客様にも選び続けていただけるよう、今後も品質の向上・丁寧な対応を心がけていきます。 白がゆは新しい委託先を探すのに苦労しましたが、灯台下暗しで市内に委託先を見つけることが出来ました。これからも地元の企業・団体の方達と協力していけたらと思っています。	
1－4	体験交流
「山清水米みんなの棚田」（棚田オーナー）は、標準コース 13 口、小口コース 14 口でした。 5 回の体験イベントを開催、縄文ツアー（モニターツアー）を 2 回受入れました。 年間交流人数は 142 名でした。（宿泊者 32 名、訪問者 139 名、メディア 0 名、のべ計 171 名）	
2	地域おこし応援事業
2－1	講演・研修会
オンラインも交えて 16 会場で、2032 名の方に聞いて頂きました。	
2－2	地域おこし応援活動
新潟県地域政策課より、2 つの事業委託を受けました。 1 つ目は新潟県地域づくり活動スタートアップ支援事業で、十日町市松之山の浦田地区で全 6 回の訪問	

サポートを通じて地域住民による自主的な活動が始まりました。

2 つ目は地域おこし協力隊定住移行調査で、新潟県の地域おこし協力隊 OB /OG と現役の協力隊員に向けて定住移行調査のアンケートを行い、分析して報告書を作成しました。

2 - 3	十日町市への移住促進
-------	------------

YouTube を見た十日町市への移住を希望する方から、直接の相談を頂きました。この方には冬に屋根の雪下ろしの体験をして頂きました。春以降も十日町市への移住を前提に体験をしたいという事で話が進んでいます。